

【ご注文承ります】

湖北出土楚簡五種 壹(上、下2冊) 湖北出土楚簡五種 貳(全1冊)

李天虹 主編、武漢大學簡帛研究中心 等編／文物出版社／2024年3月／精装

〔壹卷〕 税込 68,310 円 (505681) ISBN 9787501083459

〔貳卷〕 税込 39,600 円 (505682) ISBN 9787501083442

戦国楚の簡牘は、湖北省内で 1950 年代以来 30 件以上が発見されているが、そのうちの約半数が未公開の状態である。本書は、これまで未刊であった 5 地 7 座の楚墓出土簡 800 余枚を、2 巻(3 冊)に分けて整理刊行する。各巻の収録内容は以下の通り；

〔壹巻〕 荊門嚴倉 M1 (2010 年出土, 651 枚)

〔貳巻〕 湖北江陵藤店 M1 (1973 年出土, 24 枚)

老河口安崗 M1 和 M2 (1992 年出土, 49 枚)

江陵拍馬山 M027 (1995 年出土, 3 枚)

武漢丁家嘴 M1 和 M2 (2009 年出土, 100 枚)

出土墓別に、竹簡の原寸・拡大写真、赤外線写真、釈文、注釈を掲載する。縦組繁体字。

竹簡の主な内容は卜筮祭祷文書で、墓主の身元や墓葬年代の推定、喪葬の礼制・習俗研究において、大きな価値を有する。たとえば嚴倉墓の墓主は、卜筮祭祷文書により、紀元前 300 年頃の楚国の大司馬・悼愴(とうこつ)であることが判明している。また、拍馬山楚簡に含まれる喪葬文書には、韻文形式の誄文が見られ、戦国時代の士人の葬礼に「誄誄」の慣例が存在した可能性が示唆される。そのほか、楚文字の変遷、楚国の事物名称や計量等の幅広い研究分野において、本書は貴重な一次資料を提供する。



ご注文・お問い合わせ